

砂川市立病院

初期臨床研修プログラム

研修終了後に**離島**の診療所へ
赴任しても**即戦力**となる医師
の育成





砂川は札幌と旭川の間

札幌まで J R で47分 車で70分

旭川まで J R で38分

砂川市の人口(2024.3末)

合計	15,372人
男	7,126人
女	8,246人
世帯	8,465世帯

カバーする圏域の人口は
10万人!



病院概要

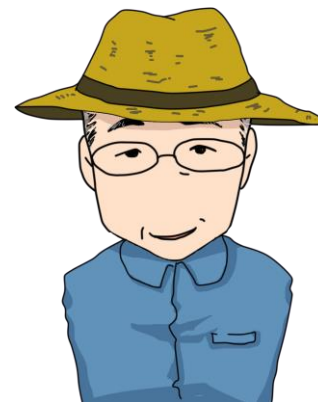
標榜診療科目 (29科)
全科そろってます

病床数 **492床**

うち、一般408床

精神80床(休床40床)、**救命救急センター**18床

感染症4床 ⇒ 新型コロナウイルス感染症など



職員数 **1,048名** (2024.4.1現在)

うち**医師110名**

(指導医40名、**研修医17名** (うち1年目11名・2年目6名))

各種指定

- 地域**センター**病院→中空知唯一
- 地域**がん診療連携拠点**病院
- **災害拠点**病院
- **DMAT指定**医療機関

東日本大震災では全国に先駆けて出動、
能登半島地震も出動しました。

- **認知症疾患医療センター**
- **総合内科医養成研修センター**



救急外来患者数

10,211名 (うち入院2,427名)

救急車搬送数

2,666名

ドクターヘリ

10名

ドクターカー

77名

外来患者数

939.7名/日

分娩数

389件 (正常289件、異常100件)

地域周産期母子医療センターです。**妊産婦の救急対応も多数経験できます！**

特色

- 道内の臨床**研修病院の先駆け**。2004年から。
- 教育研修センター(事務)による**手厚い研修サポート**は全道ナンバー1!
- 研修医が互いに**切磋琢磨** (出身大学が複数)
- **救急当直研修**で極めて**豊富な症例**を経験
- **充実した専門診療科**のバックアップ
- 恵まれた**処遇・待遇** (安心して勤務できます)



プログラムの特徴(2つの柱)

①救命救急センター研修

- 北米型 E R で一次救急から三次救急までのあらゆる患者を診療
- Common diseasesの患者を浴びるほど診られます
- Walk-inの心筋梗塞、大動脈解離なども！
- 年間2,616台の救急車（必要にして充分）
- 1年目研修医、2年目研修医、指導医でチーム診療



- 研修医 1 人当たり **日当直回数(上限)**
6 回以内/月 年72回以内
- 救急外来受診患者
12,644人/年
35人/日
- 研修医一人当たりの**救急外来経験症例数**
年に**約1,100人**
- 平均の**救急車搬入件数**
7.17件/日



当直で経験する症例

急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離、喘息、低血糖、腸閉塞、胆管炎・胆嚢炎、腎盂腎炎、消化管出血、乳腺炎、尿路結石、脳卒中、胸膜炎、急性薬物中毒、過換気症候群、C P A、交通外傷、骨折、脱臼、アキレス腱断裂、帯状疱疹、蕁麻疹、腹痛、めまい、鼻血、熱傷、・・・

小児では発熱、肘内障、溶連菌性咽頭炎、伝染性膿痂疹、など・・・

②ローテーション研修

■ 必修

他と比較して長くなっています



- 内科32週以上、外科8週以上、救急8週以上、
- 麻酔4週以上、小児科4週以上、産婦人科4週以上、
- 精神科4週以上、地域医療4週以上

■ 選択：28週以上

(1年次4週以上、2年次24週以上)

2年間のスケジュール

1年目

内科 24 週以上	小児科 4週 以上	外科 8 週以上	選択 科目 4週 以上	救急科 4週 以上	麻酔科 4週 以上
①一般外来並行研修(内科・小児科) ②救急外来 月6回以内(年間72回以内)					

2年目

選択科目 24週以上	救急科 4週 以上	内科 8 週以上	精神科 4週 以上	産婦 人科 4週 以上	地域 医療 4週 以上
①一般外来並行研修(内科・地域医療) ②救急外来 月6回以内(年間72回以内)					

■ 1年目

□ 内科24週以上

総合→8週以上

呼吸器→4週以上・消化器→4週以上

循環器内科→4週以上・脳神経内科→4週以上

□ 外科8週以上→(消化器・乳腺・緩和ケア)

□ 救急科4週以上、麻酔科4週以上、小児科4週以上

□ 選択4週以上→心臓血管外科、整形外科、形成外科、 脳神経外科、産婦人科、放射線診断科から選択

■ 2年目

□ 内科8週以上

総合・呼吸器・消化器・血液など

□ 救急科4週以上、産婦人科4週以上、精神科4週以上

□ 地域医療4週以上→北海道立羽幌病院などから選択

□ 選択24週以上

砂川市立病院の診療科

北大、札医大、旭医大から2ヶ月まで可能

地域医療を4週以上追加可能（計2ヶ月まで可能）

地域に根ざした医療

- **道立羽幌病院**（焼尻島での研修あり）**松前町立松前病院、あかびら市立病院**でのプライマリ・ケア研修も取り入れ、経験の幅を広げます
- 2年間の研修は、地域医療研修を除いて、すべて**砂川市立病院**で研修可能です。

研修目標の例

循環器内科

1. 循環器疾患の患者を通して内科診療を学ぼう
2. 非循環器医が身につけてほしい最低限の知識を身につけよう。

①問診の重要性を知ろう

②心電図を読めるようになろう

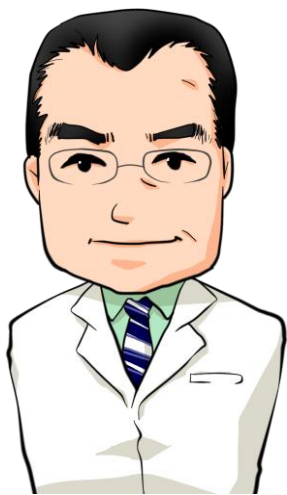
③ポータブル心エコーを使えるようになろう

3. 経験しよう

①除細動

②PSVTをATPでstop!

③動脈穿刺、静脈穿刺



平林事業管理者

週間予定表

	月	火	水	木	金	土・日
朝	・ミニレクチャー ・画像診断レクチャー(休止) 7:30～8:00	日・当直経験症例 フィードバック 7:30～8:00	プライマリ・ケアカンファレンス 7:30～8:00 (カンサーボード) 8:00～8:30	プライマリ・ケアレクチャーシリーズ 7:30～8:00	・抄読会 ・ミニレクチャー 7:30～8:00	
午前				岸田直樹先生 ランチョンセミナー 13:30～14:30 (内科ローテート)		
昼						
午後						
夕方			前月の ポートフォリオ フィードバック (第2水)			
夜	日当直月6回以内					

- 日当直フィードバック (毎週火)
- ミニレクチャー (月・隔週金)
- 抄読会 (隔週金)



**研修医が主体となっていて行なっており、
総合診療科 木村副院長がサポートします。**



岸田先生と学ぶ贅沢な時間

感染症・総合内科の教育 毎週木曜

「間違いなく将来の糧になります」



Sapporo Medical Academy代表

岸田 直樹 先生

午前 岸田先生と「闘魂外来」

昼 総合内科ランチオンセミナー

午後 内科病棟・感染症教育

月2回 研修医と救急当直

月1回午前 内科病棟教育回診

ネット上の学習会に毎週参加！

- プライマリ・ケアカンファレンス
 - 水曜朝 各地から症例共有、抄読会
- プライマリ・ケアレクチャーシリーズ
 - 木曜朝 各地から実践的なレクチャー
 - 当院が司会

外部講師によるセミナーも

- 今までも有名講師陣を招聘

国保旭中央病院

坂本 壮 先生

諏訪中央福井大学医学部附属病院救急総合診療部

林 寛之 教授

諏訪中央病院総合診療科

山中 克郎 先生

市立福知山市民病院

川島 篤志 先生 など

外部講師によるセミナー

- 今年度の予定（医学生も参加できます）

国立病院機構大阪医療センター

松本 謙太郎 先生

※日程(15:00～17:00)

①令和6年6月19日(水)

②令和6年7月17日(水)

そのほか年間数回予定しています!

日程が決まり次第、ホームページ・SNS等で周知します。



学会・研修会等の参加

◇北海道内外の学会等は、公費により参加できます！

■北海道内外で学会

■各種講習会の参加

など当院で参加費、旅費を支給しています。

(上限額有 年20万円)

◆**医学研究手当 月2万円支給 (書籍購入など)**

充実したキャリアアップ支援！

基幹型研修医の出身大学

■ 北大	54名	39%	現在在籍しているのは (五十音順) : 旭川医大 札幌医大 自治医大 東京女子医大 獨協医大 北大 山形大 (含 たすき掛け)
■ 札医大	41名	29%	
■ 旭医大	18名	13%	
■ 自治医大	9名	7%	
■ その他		12%	

山形大

3名

琉球大、岩手医大、獨協医大 各2名

大阪大、九州大、杏林大、産業医大、昭和大、

獨協医大、帝京大、神戸大 各1名 **計138名**

※2004年度～2024年度までの20年間

どこの大学出身者も大歓迎！ 学閥はありません

基幹型研修医卒業直後の主な進路

■ 北海道大学(56名)

第一外科14、循環器内科11、麻酔科6、呼吸器内科5、整形外科4、
脳神経外科3、小児科3、放射線診断科3、救急科1、第三内科1、
循環器外科1、形成外科1、血液内科1、産婦人科1、乳腺外科1

■ 札幌医科大学(28名)

形成外科5、脳神経内科4、心臓血管外科4、救急科3、整形外科3、
第二内科2、小児科1、産婦人科1、精神科1、泌尿器科1、
消化器内科1、麻酔科1、放射線科1

■ 旭川医科大学(8名)

第三内科4、第一内科2、泌尿器科1、小児科1

■ 砂川市立病院(5名)

循環器内科2、外科1、内科1、総合診療科1

地方の研修病院、砂川市立病院のいいところ

- 一つの病院で医療が**ほぼ完結**。初診から最終診断までフォローできる。
- 近隣住民による**絶大な信頼**！
- **断らない病院。断りません**！
- **職員が皆とてもいい方々で非常に熱心**！


研修医の年次推移

- 2名→5名→6名→7名→8名→9名
- 2022年度まで17年間フルマッチで、
- 今回もまたフルマッチ！
- 毎年、受験者数もさほど多くありません。
チャンスです!
- ぜひ、見学にいらしてください！

2025年度採用臨床研修医試験

- 定 員 9名
- 募集期間 2024年7月1日(月)～
- 試験日 ①8月9日(金)・ ②8月16日(金)必着
- 試験日 ① 2024年8月16日(金) 午後1時から
- 試験日 ② 2024年8月23日(金) 午後1時から
- ※都合のつかない場合は別途実施します
- 選考方法 ① 個人面接 ② パーソナルステートメント(申込時に提出)
- 応募方法 ①履歴書 (当院指定)
- 応募方法 ②採用試験申込書 (志望理由・将来などについて)
- ※①と②を応募先へ郵送ください
- 提出書類 試験当日持参するか応募申込時に一緒に郵送
- 提出書類 ①成績証明書②卒業 (見込み) 証明書
- 提出書類 ②健康診断書 (大学発行のもので可)
- (大学で実施していない場合は免除)

充実した研修医の処遇・待遇

- 身分 常勤医師（**正職員**）
- 給与 **1年目 32.3万円/月 賞与99.5万円/年**
2年目 37.1万円/月 賞与159.5万円/年
- 手当 診療手当(月2.5万円)、医学研究手当(月2万円)、
期末・勤勉手当(賞与)、住居手当、宿日直手当、
寒冷地手当、**時間外手当**など
- 退職金 有り  **結構大きいです！**
- 時間外手当 有り(実績に応じて支給)
- 勤務時間 月曜日～金曜日 8:30～17:00
- 休暇 有給休暇、夏期休暇、特別休暇
- 時間外勤務 必要に応じて行う（年1,860時間以内）
- 宿舎 あり

病院見学・実習

- 交通費の補助 北海道内 5,000円
- 北海道外 10,000円
- 宿 泊 市内のホテルを当院で用意します
- 申 込 砂川市立病院ホームページより申込ください
- お問い合わせ 砂川市立病院教育研修センター
- 電話 0125-54-2131

- 砂川市立病院ホームページQRコード



砂川市立病院研修医 2023年



砂川市立病院研修医 2024年





お待ちしております！